

「第五期武蔵野市環境基本計画」中間まとめ パブリックコメントの結果について

1 パブリックコメント実施概要

- (1) 募集期間 令和2（2020）年12月11日（金曜日）～令和3（2021）年1月4日（月曜日）
- (2) 提出者数 3名
- (3) 意見件数 12件

2 市民からのご意見と対応等

※頁数は中間まとめ時点のものです。

No.	市民からのご意見	計画への対応等
1	新型コロナウイルス感染症や防災についても触れられており、環境基本計画が取り扱う範囲としては広すぎるのではないかと。他に個別計画があるのに環境基本計画は必要なのか。	昨今の情勢を踏まえ、新型コロナウイルス感染症等について触れていますが、本計画が本質的に取り扱う範囲は、4ページの「3計画の対象(2)分野」に記載のとおりです。また、本計画は武蔵野市環境基本条例に基づき策定するもので、個別計画との関連を含むその位置付け等は3ページ及び5ページに記載のとおりです。
2	16ページの「進捗状況」にある、侵略的な外来種の例示にトウネズミモチを追加するべきではないかと。生物多様性基本方針には書かれている。	ご意見をふまえ、修正しました。 …④ミシシippアカミミガメ、ハクビシン、トウネズミモチといった侵略的な外来種や害獣・害虫も確認されました。
3	20ページの水環境への配慮について、雨水浸透設備等が減少傾向にあるのはなぜか。55ページの図表29にある、設置件数増加と矛盾している。	19ページに追加したアンケート概要のとおり、アンケートの対象者は実施年度ごとに任意抽出されており、同一の回答者を追跡しているものではありません。また、図表29の設置助成対象者とアンケート対象者は一致しません。
4	21ページのカーシェアリングとレン	仕組みの目的に関わらず、カーシ

	<p>タサイクルについて、これらが環境にどのように影響するのかわからない。</p>	<p>エアリングは車の絶対数減少、レンタサイクルは自転車の利用促進に寄与するものです。結果として、排気ガスや二酸化炭素排出量の削減等につながっていると考えられます。</p>
5	<p>21 頁のマイボトル・マイバッグの使用率について、職業・性別による違いはあるか。</p>	<p>家事専門のマイボトル・マイバッグ使用率が 65.2%と他の職業に比べ高くなっています。アンケート項目に性別を設けていないため、性別による使用率の比較はできません。</p>
6	<p>26 頁の「(3)コンパクトで創造的な環境施策が求められる」の記述について、市は再生可能エネルギー等の創出に積極的に取り組もうとしているわけだから、消極的に受け止められないよう、再生可能エネルギーや自然環境を創り出すために「多大な努力が必要である」旨や、「挑戦的な課題に取り組む」旨を追加してはどうか。</p>	<p>ご意見をふまえ、当該箇所の意図が正しく理解されるよう修正しました。</p> <p>…例えばメガソーラーパネルの設置等による再生可能エネルギーの創出や大規模公園の新規整備等による自然環境の創出は難しく、これらは典型的な都市の特徴と言えます。</p>
7	<p>30 頁の基本理念について、「スマートシティ」ではなく「環境都市」を使うことは妥当なのか。</p>	<p>本計画の上位計画である第六期長期計画に「環境都市の実現を目指していく」と明記されており、適切な表現であると考えます。</p>
8	<p>36 頁のプラスチック対策について、プラスチック製品使用抑制を謳いながら、市が会議等でペットボトル飲料を提供していることはないか。</p>	<p>「エコオフィスむさしの活動」に基づき、ペットボトルの使用は必要最低限とする取り組みを実施しています。</p>
9	<p>38 頁の「武蔵野市らしい生物多様性」について、市内生物生息状況調査だけでなく、歴史的背</p>	<p>ご意見をふまえ、修正しました。</p> <p>38 頁①</p> <p>今後は、これを参考としつつ武蔵</p>

	景等も考慮すべきである。	野市生物多様性基本方針に基づき、広域的な視点が必要であることも踏まえながら、…
10	38 頁にある武蔵野市らしい生物多様性について、生物多様性の検討、維持、向上の推進には市民や市民団体の参画が必要なので、「市民・市民団体との協働によって」等の記載が必要ではないか。	ご意見をふまえ、修正しました。 …その維持・向上のための施策を関係課、市民、市民団体等との連携によって推進します。
11	38 頁にある「広域的な視点」について、多摩の森林に加え、東京西部の水と緑をつないだエコロジカルネットワークも重要である。	施策の具体的な実施にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。
12	39 頁④の「ネットワーク」とは何を指すのか。	「ネットワーク」という言葉にわかりにくい部分があったため、修正しました。 39 頁④ 農地・農業を軸とした環境施策の推進